

令和3年度

事業計画書

公益財団法人たましん地域文化財団

事業体系

I. 事業計画の概要	(1)
II. 公益目的事業	(2)
III. 収益事業	(7)
IV. 管 理	(8)
事業計画の内訳	(9)
1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)	(9)
(1)企画展覧会 ①たましん美術館	(9)
②たましん歴史・美術館	(10)
③たましん本店2階ギャラリー	(10)
(2)調査・研究・収集・保存	(10)
(3)美術講座・美術教育	(11)
(4)地域との連携	(12)
(5)広報・普及活動	(12)
2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)	(13)
(1)『多摩のあゆみ』の刊行	(13)
(2)刊行物の発行	(13)
(3)歴史資料室の運営	(14)
(4)多摩の歴史講座	(14)
(5)地域とのネットワーク強化	(14)
(6)「多摩金融史」関係資料の整理	(15)
(7)広報・普及活動	(15)
3. 物品販売事業及び喫茶事業(収1)	(16)
(1)物品販売事業	(16)

I. 令和3年度 事業計画の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、多摩地域で暮らす人々の生活をより豊かなものとするために美術や歴史に親しんでいただく機会の提供をすること、そしてその土壌づくりのための創作・研究を行う方々の支援を行うことを使命として、令和3年度の事業の計画・実施を行います。

令和3年度は、ここ数年間整備をしてきた事業実施のためのより良い環境づくりが一旦完了し、そのインフラを有効活用した事業を行うことにより、多くの人々に美術や歴史を愉しんでいただけるような事業展開を行います。

公1(美術館・ギャラリーの運営事業)については、昨年開館しました「たましん美術館」(立川市)をメインの館として企画展を4会期開催予定です。同館は今年度も文化庁の指導における「枯らし期間」中であり、地域に根差した美術館として「多摩」に関わる展覧会を開催します。また、併せて自治体や地域内の大学との連携事業、広く美術の楽しさを知っていただくためのイベントを開催します。

公2(『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業)は、例年通りの事業が中心ですが、広く財団の事業を知ってもらうためにホームページやデジタルアーカイブの活用、またコロナ対応で必要が生じたリモートによる講座など、一層のデジタル化に取り組めます。

令和2年度は新型コロナ禍により事業展開に困難が生じましたが、今年度についてもその状況が完全に解消されるという状況にはならないと想定しております。そのような環境下にあっても、当財団の持つコンテンツを提供し、多くの方に喜んでもらえるよう事業を実施してまいります。

Ⅱ. 公益目的事業の事業計画概要

当財団の公益目的事業は主に以下の事業、およびそれに付随する事業です。

公1. 美術館・ギャラリーの運営事業(以下「美術」という。)

公2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(以下「歴史」という。)

1. 美術(公1)

(1) 企画展覧会

① たましん美術館

たましん美術館は、今年度4会期の企画美術展を開催します。

1) 「足跡 vol.2 所蔵品と新作から見える多摩の美術」

令和3年5月1日(土) ～ 6月20日(日) 開館期間 44日

前年度に行った所蔵作品と新作を並べた展覧会の第二弾です。絵画だけでなく、立体作品も交えて展示し、作家の作風の変化を楽しめます。

2) 「コレクションの礎(いしずえ) 一倉田三郎・佐藤多持・関頑亭一」

令和3年7月3日(土) ～ 9月26日(日) 開館期間 70日

多摩中央信用金庫に始まった「たましん」の文化事業。そこに大きく貢献いただいた洋画家倉田三郎、日本画家佐藤多持、彫刻家関頑亭の作品の魅力を紹介します。

3) 「新収蔵 小貫政之助展」

令和3年10月9日(土) ～ 12月26日(日) 開館期間 68日

激動の昭和生き抜いた画家小貫政之助。ご寄贈いただいた作品を中心に並べ、多摩で活動した小貫の生涯を振り返ります。

4) 「The Adventure of Prints 一版画の冒険」

令和4年1月15日(土) ～ 4月3日(日) 開館期間 64日

武蔵野美術大学版画研究室と共催する形で、同大学所蔵の版画作品を借用して、現代版画が芸術表現の可能性を模索してきた歴史を紹介します。

② たましん歴史・美術館

たましんコレクションによる常設展を3会期、開催します。各期、テーマを設定し、そのテーマに対応する作品を展示します。

1) 第1会期 令和3年5月22日(土) ～ 8月29日(日)

2) 第2会期 令和3年9月11日(土) ～ 12月26日(日)

3) 第3会期 令和4年1月15日(土) ～ 3月27日(日)

③ たましん本店2階「地域貢献スペース」ギャラリーの運営

たましん本店2階ギャラリーの展示計画、作家選定、展示作業の監督を行います。本件は多摩信用金庫からの委託事業です。

(2) 調査・研究・収集・保存

① たましん美術館の年報・紀要の作成

たましん美術館の活動の記録、所蔵作品・作家の継続的な研究成果を年報・紀要として作成します。

② 展覧会スケジュールの発行

今年度の展覧会スケジュールを作成し、配布します。

③ 資料・図書の収集

多摩地域に関わる重要な作家の資料や地域における美術に関する図書等を引き続き収集し、美術資料室にて閲覧に供します。

④ 作品の収集

たましん美術館、本店2階ギャラリー(地域貢献スペース)で展示をおこなった作家の作品を、寄贈・購入により収集し、コレクションを拡充していきます。

(3) 美術講座・美術教育

① ギャラリートーク(たましん美術館)

展覧会担当学芸員が、展覧会の趣旨・見どころ、作品解説を行います。

1) 「コレクションの礎 一倉田三郎・佐藤多持・関頑亭一」展

2) 「小貫政之助」展

ともに、開催日時は未定

② トークイベント

「小貫政之助」展 スライドトーク

「小貫政之助」展会期中に、小貫政之助の生涯、画風、魅力等をスライドを使用して学芸員が解説するイベントです。

③ 体験型イベント

「The Adventure of Prints」ワークショップ

「The Adventure of Prints」展会期中に、版画の魅力を体験してもらう子供向けワークショップを行います。

④ 美術講演会

くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行います。昨年度は新型コロナの影響で本講座を開催出来なかったことから、今年度も同じテーマで、「古代ギリシャの美術と文化」について

の3回講座を予定しています。

第1回 「エーゲ海文明の曙」

第2回 「アルカイック時代とオリムピック」

第3回 「クラシック時代とヘレニズム時代」

(使用会場が新型コロナウイルス感染症予防対応に使用予定のため、開催時期未定)

講師 斎藤陽一氏

(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館」プロデューサー)

会場 くにたち市民芸術小ホール

募集人員 毎回 60 名(延べ 180 名) 受講料 無料

(4) 地域との連携

① 地域の学校との連携

1) 立川市立中学校生徒のたましん美術館見学

立川市内の市立中学校全校の1年生全員が「たましん美術館」を見学します。
本件は立川市教育委員会との連携事業で、作品鑑賞や美術館でのマナー等を指導します。

2) 多摩地域内の各校の美術館見学の受け入れ

多摩地域内の小中学校からの美術館見学の要請について対応を行います。
本件についても、作品鑑賞や美術館でのマナー等の指導を行います。

② たましん美術館の周辺地区内施設との連携

たましん美術館の周辺地域にある、グリーンスプリングス、ファーレアート、昭和記念公園、国文学研究資料館と交流を図り、連携企画を行います。

(5) 広報・普及活動

① 美術館専用 WEB サイトの構築

当財団が運営する3施設の情報発信のため、財団 HP 内の美術館専用サイトのコンテンツの充実を図ります。

2. 歴史(公2)

(1) 『多摩のあゆみ』の刊行

下記の通り、各号ごとに特集テーマを予定しています。

なお、『多摩のあゆみ』の発行日は、178号から15日を月末日に変更しました。

182号「コロナ禍と向き合う博物館」(仮題)	令和3年5月31日発行
183号「多摩の銭湯」(仮題)	令和3年8月31日発行
184号「江戸東京と多摩」(仮題)	令和3年11月30日発行
185号「東京、多摩ことばの移り変わり」(仮題)	令和4年2月28日発行

(2) 中島陟文書資料集の刊行

国立市在住の佐藤収一氏(株式会社サトウ 会長)が所蔵する中島陟(のぼる)文書資料を、越沢明北海道大学名誉教授の監修のもと、刊行物として発行します。

・「箱根土地株式会社と分譲地・学園都市 ー常務取締役中島陟文書よりー」(仮称)

本書は令和2年度中に発行予定でしたが、新型コロナウイルス感染症による作業工程の遅延発生により延期せざるを得ず、令和3年度の継続事業としました。

(3) 歴史資料室の運営

多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。

(4) 多摩の歴史講座

(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回の連続講座を実施します。令和2年度は新型コロナ禍の影響で本講座を開催できなかったことから、今年度も同じ「デジタル地図を使って多摩の歴史を考える」をテーマとします。

会場は多摩信用金庫本店4階会議室を借用し、100名を募集します。ただし、新型コロナウイルス感染の拡大状況によっては、定員数を減らします。

受講料は無料です。

(5) 地域とのネットワーク強化

国文学研究資料館(立川市)、東京都立多摩図書館、東京都公文書館(ともに国分寺市)等との連携を更に深め、また市史編さん等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化します。

(6) 「多摩の金融史」関係資料の整理

『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は計 15 回となりました。

武蔵野支店地下倉庫に保管されている金庫資料(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影・分析を、多摩金融史研究会の協力を得て更に進めていきます。

(7) 広報・普及活動

① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり 39～自治調査会だより～』に告知します。

② 『多摩のあゆみ』連載のデジタルアーカイブ化

『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像や PDF 本文を、毎号デジタルアーカイブで公開していきます。

Ⅲ. 収益事業

1. 物品販売事業（収1）

（1）物品販売事業

たましん美術館に併設のミュージアムショップでは、オリジナルのクリアファイル、スケッチブック、絵はがき、財団発行の書籍を販売します。

また、地域の作家の陶器や地域企業のグッズ、美術館仕様のバッグ等の委託販売を行います。

IV. 管理

1. 役員及び役員会等に関する事業(定款第4条第9号)

(1) 理事、監事及び評議員の任期

- ① 評議員 令和2年6月22日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ② 理事 令和2年6月22日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで(改選期)
- ③ 監事 令和2年6月22日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで(改選期)

(2) 理事会等の開催

- ① 理事会 年3回
- ② 評議員会 年2回
- ③ 決算監査 年1回

事業計画の内訳

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)

(定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 7,890 千円)

(1)企画展覧会

①たましん美術館

計画事業 通し番号	計 画				計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	開催 日数	事業内容及び説明	(千円)
1	足跡vol.2 所蔵品と新作から見える多摩の美術	自主	令和3年5月1日(土)～6 月20日(日)	44	前年度に行った「足跡1974-2020 所蔵品と新作から見える多摩の美術」の第二弾となる展覧会。 絵画を中心に一部立体作品をまじえて、たましんの所蔵する旧作と、近年制作された新作を並べ、 作家それぞれの作風の変化に注目する。	<u>1,120</u>
2	コレクションの礎(いしずえ)―倉田三郎・佐藤多持・関 頑亭―	自主	令和3年7月3日(土)～9 月26日(日)	70	昭和49年に「たましん展示室」(後の「たましんギャラリー」)を開設した時から本格的に始まった、多 摩信用金庫の文化事業。そこに深く関わり、金庫の活動を応援した洋画家の倉田三郎、彫刻家の 関頑亭、日本画家の佐藤多持。たましんコレクションの成立にも深く関わった、この三人の作品を取り 上げ、その魅力を紹介する。	<u>1,160</u>
3	新収蔵 小貫政之助展	自主	令和3年10月9日(土)～ 12月26日(日)	68	戦争という過酷な経験とともに、激動の昭和を生き抜いた画家小貫政之助に焦点を当てた展覧会。 作家に縁のある方々からご寄贈いただいた作品を並べ、初期から晩年にいたるまでの生涯を振り 返る。	<u>2,950</u>
4	The Adventure of Prints 一版画の冒険	共催	令和4年1月15日(土)～ 4月3日(日)	64	武蔵野美術大学版画研究室と共催する形で、武蔵野美術大学所蔵の版画作品を借用し、現代版 画が芸術表現の可能性を模索してきた歴史を紹介する。	<u>640</u>

②たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画				計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	開催 日数	事業内容及び説明	(千円)
1	たましんコレクション常設展Ⅰ	自主	令和3年5月22日(土)～ 8月29日(日)	85	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしばった作品を選定し、 展示する。	<u>360</u>
2	たましんコレクション常設展Ⅱ	自主	令和3年9月11日(土)～ 12月26日(日)	89	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしばった作品を選定し、 展示する。	<u>360</u>
3	たましんコレクション常設展Ⅲ	自主	令和4年1月15日(土)～ 3月27日(日)	60	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしばった作品を選定し、 展示する。	<u>360</u>

③たましん本店2階ギャラリー

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	たましん本店2階ギャラリー運営	自主	通年	たましん本店2階ギャラリー(地域貢献スペース)の展示計画、作家の選定、展示・撤収作業の監督 を財団学芸員が行う。	<u>200</u>

(2)調査・研究・収集・保存

計画事業 通し番号	計 画				予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	たましん美術館年報・紀要の作成	自主	通年	たましん美術館の活動の記録および所蔵作品・作家についての継続的な研究成果を年報・紀要にまとめる。	<u>0</u>
2	展覧会スケジュールの発行		通年	令和3年度のたましん美術館展覧会スケジュールを発行する。	<u>290</u>
3	資料・図書の収集		通年	多摩地域の重要な作家の資料、多摩地域の美術に関する図書等を引続き収集する。	<u>100</u>
4	作品の収集		通年	たましん美術館およびギャラリー(地域貢献スペース)で展示を行った作家の中から、数点作品を購入し、コレクションの拡充をはかる。	<u>150</u>

(3)美術講座・美術教育

① ギャラリートーク

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	「コレクションの礎－倉田三郎・佐藤多持・関頑亭－」展 ギャラリートーク	自主	日時未定	展覧会担当学芸員が展覧会趣旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行う。	0
2	「小貫政之助」展ギャラリートーク	自主	日時未定	展覧会担当学芸員が展覧会趣旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行う。	0

②トークイベント ③体験型イベント

1	トークイベント 「小貫政之助」展スライドトーク	自主	日時未定	「小貫政之助」展会期中に、作家小貫政之助の生涯や画風の展開、画家としての魅力について、作品スライドを用いて、展覧会担当学芸員がトークイベントを行う。	0
2	体験型イベント 「The Adventure of Prints」ワークショップ	自主	日時未定	「The Adventure of Prints」展会期中に、版画の魅力を体験してもらう子供向けワークショップを行う。	0

④美術講演会

1	美術講演会	共催	日時未定	くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行います。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的として全3回の講演を予定しています。 講演名 「古代ギリシャの美術と文化」 講師 斎藤 陽一氏(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館」プロデューサー) 会場 くにたち市民芸術小ホール 募集人数 毎回60名(延べ180名) 受講料 無料	100
---	-------	----	------	--	-----

(4) 地域との連携

① 学校との連携

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	地域の学校との連携	自主	通年	立川市の全校中学生を対象に、たましん美術館において鑑賞教室を行う。	100

② たましん美術館周辺地区との連携

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	グリーンスプリングスとの連携	自主	通年	たましん美術館の周辺地区の施設との交流を図り、様々な連携企画を行っていく。	0
2	ファーレアートとの連携				
3	昭和記念公園との連携				
4	国文学研究資料館との連携				

(5) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	美術館専用WEBサイトの構築	自主	通年	財団が運営する、たましん美術館、たましん歴史・美術館、ギャラリー（地域貢献スペース）、この3つの展示施設の情報を広報するための、美術館専用WEBサイトのコンテンツの充実をはかる。前年度からの継続。	0

2.『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)

(定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 13,520 千円)

(1)『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	182号「コロナ禍と向きあう博物館」(仮題)	自主	5月	世界的に流行している新型コロナウイルス感染症に、各機関はその対策に苦慮しています。多摩地域の博物館では来館者への対応をはじめ、過去の感染症に関する展示やオンラインによる情報発信に努めています。本号では各地の博物館がどのような対策や事業を実施したのか、その事例を紹介します(協力依頼:三多摩公立博物館協議会)。	10,520
2	183号「多摩の銭湯」(仮題)	自主	8月	都市化の拡大の中で、昭和40年代に最盛期を迎えた多摩の銭湯も、廃業によって次第に減少し、各地の博物館で記録され、特別展などで紹介されています。その成果を踏まえ、多摩・東京の銭湯の歴史や現状、文化、地域の中でのあり方などを、近県との比較を交えつつ、考察、紹介します。	
3	184号「江戸東京と多摩」(仮題)	自主	11月	東京都公文書館では、江戸時代から現代にかけての江戸・東京や多摩地域に関する各種資料(旧幕引継書、行政文書、絵図・地図、写真・フィルムなど)を所蔵しています。これらの資料群を解き明かして、江戸・東京と多摩の関係を考察します。本号は、令和2年4月に国分寺市に移転してきた同館との連携事業になります。	
4	185号「多摩、東京ことばの移りかわり」(仮題)	自主	令和4年2月	『東京都言語地図』(1986年)、『新 東京都言語地図』(2018年、2019年)の成果を踏まえ、多摩、東京のことばの音韻やアクセントの移りかわりと社会の変化との関わりを、具体的な言葉を取り上げつつ、考察します。	

(2)刊行物の発行

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	中島陟文書資料集の刊行	共催	通年	越澤明北海道大学名誉教授の監修のもと、佐藤収一氏(株式会社サトウ会長)が所蔵している中島陟(のぼる)文書資料を刊行物として発行します。協力者:渡辺彰子氏 書名:『箱根土地株式会社と分譲地・学園都市―常務取締役中島陟文書より―』(仮称) *令和2年度発行予定でしたが、新型コロナウイルス感染症のため作業工程を延期せざるを得なくなり、令和3年度の継続事業としました。	0

(3) 歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	歴史資料室の運営	自主	通年	多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・整理・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。 また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。	1,850

(4) 多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	多摩の歴史講座	共催	9月～11月(予定)	(公財) 東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回連続の講座を実施します。コロナ禍のために延期となった令和2年度(第24回)のテーマ「デジタル地図を使って多摩の歴史を考える」を行います。 会場：多摩信用金庫府中支店 4階会議室(予定) 定員：100名(新型コロナウイルス感染拡大状況によっては定員数を減らします。) 受講料：無料	350
2	多摩の歴史講座のオンライン配信	自主	12月(予定)	上記の歴史講座を記録・編集して、インターネットを用いてオンライン配信します。ホームページで受講者を募集して、名簿を作成し、期間を限定して配信します。	

(5) 地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			計 画
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	国文学研究資料館(立川市)をはじめ、東京都立多摩図書館(国分寺市)や東京都公文書館(国分寺市)などとの連携をさらに深め、また市史編さん等への協力を通じて、行政各機関とのネットワークを強化していきます。
2	資料検索システムの横断検索	自主	通年	NPO法人共同保存図書館・多摩(多摩デポ)と連携・協力して、当財団ホームページ資料検索システムの書誌情報を多摩デポ統合検索に組み込んで、都立図書館や市区町村立図書館などと横断して検索できるようになることを目指します。

(6) 多摩金融史関係資料の整理

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	自主	通年	『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は、15回目まで掲載してきました。 武蔵野支店の地下倉庫に保管されている金庫資料旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影・分析をさらに進めていきます。	100

(7) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	『多摩のあゆみ』発刊、 「多摩の歴史講座」開催等 告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。また、 「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』などで告知します。	200
2	『多摩のあゆみ』連載の デジタルアーカイブ化	自主	通年	『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像や、PDF本文を、毎号デジタルアーカイブで公開していきます。	500

収益事業

1. 物品販売事業(収1)

(定款第4条第1項第9号)

(予算額 460 千円)

(1)物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	物品販売事業	自主	通年	たましん歴史・美術館で、オリジナルの絵はがきを販売します。 たましん美術館のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種雑貨等の委託販売を行います。	460

令和 3 年度

収支予算書

公益財団法人たましん地域文化財団

令和3年度収支予算書(正味財産増減ベース)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

公益財団法人たましん地域文化財団

(単位:円)

科 目	令和3年度 予算額(イ)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業等会計		法人会計	令和2年度 予算額(ロ)	増減 (イ)－(ロ)
		公1	公2	共通	小計	収1	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	4,600,000	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	4,600,000	0
基本財産運用益	4,600,000			4,600,000	4,600,000		0		4,600,000	0
特定資産運用益	10,000	0	0	10,000	10,000	0	0	0	10,000	0
特定資産運用益	10,000			10,000	10,000		0		10,000	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0			0	0	0		0	0
事業収益	4,280,000	3,630,000	50,000	0	3,680,000	600,000	600,000	0	6,700,000	△ 2,420,000
入館料収益	3,530,000	3,530,000			3,530,000		0		3,550,000	△ 20,000
図録販売収益	100,000	100,000			100,000		0		100,000	0
出版事業収益	50,000		50,000		50,000		0		50,000	0
物品販売収益	600,000				0	600,000	600,000		3,000,000	△ 2,400,000
受取補助金									4,820,000	
受取寄付金	78,880,000	18,500,000	0	56,500,000	75,000,000	190,000	190,000	3,690,000	65,000,000	13,880,000
受取寄付金	78,880,000	18,500,000		56,500,000	75,000,000	190,000	190,000	3,690,000	65,000,000	13,880,000
雑収益	780,000	200,000	440,000	40,000	680,000	0	0	100,000	140,000	640,000
雑収益	780,000	200,000	440,000	40,000	680,000		0	100,000	140,000	640,000
経常収益計(A)	88,550,000	22,330,000	490,000	61,150,000	83,970,000	790,000	790,000	3,790,000	81,270,000	7,280,000
(2) 経常費用										
事業費/管理費(法人会計)	89,280,000	55,840,000	28,440,000	0	84,280,000	710,000	710,000	4,290,000	83,540,000	5,740,000
売上原価	140,000	70,000	40,000	0	110,000	30,000	30,000	0	210,000	△ 70,000
役員報酬	600,000	0	0	0	0	0	0	600,000	600,000	0
給料手当	24,560,000	15,330,000	9,230,000	0	24,560,000	0	0	0	23,170,000	1,390,000
臨時雇賃金	4,180,000	2,020,000	2,160,000	0	4,180,000	0	0	0	7,000,000	△ 2,820,000
賞与引当金繰入	1,440,000	970,000	470,000	0	1,440,000	0	0	0	1,540,000	△ 100,000
退職給付費用	500,000	210,000	290,000	0	500,000	0	0	0	550,000	△ 50,000
法定福利費	3,990,000	2,380,000	1,530,000	0	3,910,000	0	0	80,000	4,200,000	△ 210,000
福利厚生費	260,000	140,000	80,000	0	220,000	0	0	40,000	280,000	△ 20,000
旅費交通費	1,360,000	910,000	350,000	0	1,260,000	0	0	100,000	1,620,000	△ 260,000
通信運搬費	3,870,000	1,510,000	1,820,000	0	3,330,000	20,000	20,000	520,000	3,530,000	340,000
減価償却費	710,000	420,000	50,000	0	470,000	0	0	240,000	780,000	△ 70,000
消耗什器備品費	40,000	0	0	0	0	20,000	20,000	20,000	330,000	△ 290,000
消耗品費	1,340,000	710,000	390,000	0	1,100,000	30,000	30,000	210,000	1,450,000	△ 110,000
修繕費	110,000	90,000	20,000	0	110,000	0	0	0	120,000	△ 10,000
印刷製本費	11,060,000	2,940,000	8,050,000	0	10,990,000	20,000	20,000	50,000	11,900,000	△ 840,000
燃料費	60,000	30,000	20,000	0	50,000	0	0	10,000	60,000	0
光熱水料費	1,230,000	940,000	210,000	0	1,150,000	0	0	80,000	2,240,000	△ 1,010,000
賃借料	20,250,000	19,380,000	250,000	0	19,630,000	200,000	200,000	420,000	2,210,000	18,040,000
保険料	1,090,000	940,000	20,000	0	960,000	0	0	130,000	970,000	120,000
諸謝金	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	0	0	0	1,180,000	△ 180,000
保守管理費	3,000,000	2,680,000	210,000	0	2,890,000	20,000	20,000	90,000	2,020,000	980,000
会議費	510,000	80,000	80,000	0	160,000	0	0	350,000	560,000	△ 50,000
支払負担金	100,000	100,000	0	0	100,000	0	0	0	100,000	0
図書費	300,000	90,000	200,000	0	290,000	0	0	10,000	300,000	0
委託費	6,360,000	3,780,000	1,740,000	0	5,520,000	20,000	20,000	820,000	14,640,000	△ 8,280,000
研修費	80,000	30,000	20,000	0	50,000	0	0	30,000	80,000	0
宣伝費	10,000	10,000	0	0	10,000	0	0	0	200,000	△ 190,000
仕入費	350,000	0	0	0	0	350,000	350,000	0	800,000	△ 450,000
諸会費	630,000	60,000	200,000	0	260,000	0	0	370,000	650,000	△ 20,000
交際費	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000	200,000	△ 100,000
租税公課	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000	0
雑費	40,000	20,000	10,000	0	30,000	0	0	10,000	40,000	0
経常費用計(B)	89,280,000	55,840,000	28,440,000	0	84,280,000	710,000	710,000	4,290,000	83,540,000	5,740,000
当期経常増減の部(A)－(B)	△ 730,000	△ 33,510,000	△ 27,950,000	61,150,000	△ 310,000	80,000	80,000	△ 500,000	△ 2,270,000	1,540,000
2. 経常外増減の部	0									0
(1) 経常外収益	0									0
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0									0
経常外費用計(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減の部(C)－(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	22,053	22,053	△ 22,053	△ 22,053	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 730,000	△ 33,510,000	△ 27,950,000	61,172,053	△ 287,947	57,947	57,947	△ 500,000	△ 2,270,000	1,540,000
一般正味財産期首残高	43,950,434	△ 267,565,491	△ 259,500,739	565,012,430	37,946,200	1,553,328	1,553,328	4,450,906	49,627,266	△ 5,676,832
一般正味財産期末残高(E)	43,220,434	△ 301,075,491	△ 287,450,739	626,184,483	37,658,253	1,611,275	1,611,275	3,950,906	47,357,266	△ 4,136,832
II 指定正味財産増減の部										
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	843,872,936	542,393,646	0	300,000,000	842,393,646	1,479,290	1,479,290	0	844,255,973	△ 383,037
指定正味財産期末残高(F)	843,872,936	542,393,646	0	300,000,000	842,393,646	1,479,290	1,479,290	0	844,255,973	△ 383,037
Ⅲ 正味財産期末残高(E)+(F)	887,093,370	241,318,155	△ 287,450,739	926,184,483	880,051,899	3,090,565	3,090,565	3,950,906	891,613,239	△ 4,519,869

令和3年度

事業報告書

公益財団法人たましん地域文化財団

目 次

1. 事業の概要	1
2. 事業報告の内訳	4
公益目的事業	
1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)	
(1)企画展覧会	4
① たましん美術館	4
② たましん歴史・美術館	4
③ 地域貢献スペース(ギャラリー)	5
(2)調査・研究・収集・保存	5
(3)美術講座・美術教育	5
① ギャラリートーク	5
② トークイベント ③体験型イベント	6
④ 美術講演会	6
(4)地域との連携	6
① 学校との連携	6
② たましん美術館周辺地区との連携	6
(5)広報・普及活動	6
2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)	
(1)『多摩のあゆみ』の刊行	7
(2)刊行物の発行	7
(3)歴史資料室の運営	7
(4)多摩の歴史講座	8
(5)地域とのネットワーク強化	8
(6)「多摩の金融史」関係資料の整理	9
(7)広報・普及活動	9
収益事業	
3. 物品販売事業(収1)	
(1)物品販売事業	10
3. 管理	11
役員等及び役員会等に関する事項	
1. 評議員、理事及び監事の名簿	11
2. 評議員会、理事会に関する事項	13
4. 附属明細書	15
1. たましん美術館実績一覧	15
2. たましん歴史・美術館実績一覧	16
3. 地域貢献スペース(ギャラリー)展覧会名	17

1. 事業の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、多摩で暮らす人々の生活をより豊かなものとするために美術や歴史に親しんでいただく機会の提供をすること、そしてその土壌づくりのための創作・研究を行う方々の支援を行うことを目的に事業を実施しております。

令和3年度は、ここ数年間整備をしてきた事業実施のためのより良い環境づくりが一旦完了し、そのインフラを有効活用した事業を行うことにより、多くの人々に美術や歴史を愉しんでいただく事業を実施致しました。

令和2年度と同様に、令和3年度につきましても当財団の計画した事業は新型コロナウイルス感染拡大により実施できない事業も多くありましたが、2つの美術館の展覧会や『多摩のあゆみ』の刊行、オンライン講座の実施、デジタルアーカイブの充実等により、当財団として実施できる可能な限りの事業を地域の皆さまに提供してまいりました。

(1) 美術館・ギャラリーの運営事業（公1）

開館後約1年が経過した「たましん美術館」では、新型コロナウイルス感染拡大による東京都からの休業要請により、令和3年4月25日から5月31日までを臨時休館といたしました。臨時休館による開館日数の減少の影響で、4会期の展覧会を計画しておりましたが、3会期に縮小致しました。第1会期「足跡 vol. 2 所蔵品と新作から見える多摩の美術」は、前年度に行った所蔵作品と新作を並べた展覧会の第二弾です。絵画だけでなく、立体作品も交えて展示し、作家の作風の変化を愉しんでいただきました。（入館者数 2,165 人：1 日平均 32.8 人）。第2会期「コレクションの礎」は、たましんコレクションの成立に強い影響を与え、たましんの文化事業を力強く応援し続けた、倉田三郎、佐藤多持、関頑亭先生方の作品をあらためて紹介する展覧会を開催しました（入館者数 3,589 人：1 日平均 38.6 人）。第3会期「The Adventure of Fine Art Prints」は、約半世紀にわたる武蔵野美術大学の版画・グラフィックアーツの展開を振り返るとともに、同大学が「社会とつながるメディア」として定義する版画の今後のさらなる進展の可能性を感じ取っていただく展覧会を開催しました（入館者数 2,583 人：1 日平均 39.7 人）。なお、令和3年度に計画していた「新収蔵 小貫政之助展」については、新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館の影響により、令和4年度実施へ変更致しました。

「たましん歴史・美術館」につきましても、新型コロナウイルス感染拡大による東京都からの休業要請により、令和3年4月25日から5月31日までを臨時休館といたしました。第1会期「洋画家倉田三郎のまなざし」（「併設」たましん

コレクション展Ⅰ)は、景色の中に溶け込むようにその土地で暮らす人々にそそがれた作者のどこまでも穏やかなまなざしを、作品一点一点から感じていただく展覧会を開催しました(入館者数 605 人:1 日平均 8.0 人)。第 2 会期「たましんの浮世絵」(「併設」たましんコレクション展Ⅱ)は、美術館で多摩地域を主題にした実物の浮世絵を間近でご覧いただきながら、江戸時代の多摩へのタイムスリップを愉しんでいただく展覧会を開催いたしました(入館者数 1,367 人:1 日平均 15.4 人)。第 3 会期「古陶賞玩(ことうしょうがん)」「同時開催」Printing Printing)は、古陶磁の奥深い魅力を味わっていただけるよう、中国、朝鮮、日本、それぞれの国の古陶磁の名品を紹介しました。また、飯能焼という明治期に埼玉県飯能市で生産されていた希少な陶磁器も展示致しました(入館者数 794 人:1 日平均 13.2 人)。

たましん本店 2 階「地域貢献スペース」(ギャラリー)の展示活動では、多摩信用金庫よりの業務委託という形で展示会を開催しました。多摩地域の美術大学と連携し、美大生等若手クリエイターによる作品展及び日本工学院八王子専門学校、国文学研究資料館、武蔵野東学園による企画展を開催致しました。

立川市立全中学 1 年生によるたましん美術館見学につきましては、令和 3 年 11 月から令和 4 年 3 月に実施を致しました。全 9 校のうち、6 校については計画通り実施を致しましたが、新型コロナウイルス感染拡大により令和 4 年 2 月に実施する予定であった 3 校については中止としました。同様に、美術講座、展覧会に組み込んだイベントやギャラリートーク等は、新型コロナウイルス感染予防対応のため計画通りに実施することができませんでした。

(2)『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営(公2)

歴史事業の柱である『多摩のあゆみ』は、182 号から 185 号まで 4 回発行しました。各号の特集では、182 号「コロナ禍に向きあう博物館」、183 号「多摩の銭湯」、184 号「江戸東京と多摩」、185 号「多摩、東京のことばの移りかわり」を採り上げました。182 号では三多摩公立博物館協議会にご協力をいただき、新型コロナウイルス感染症が収束しないなか、タイムリーなテーマを集めることができました。183 号では研究者による、多摩・東京の銭湯の歴史を考察する論考に加え、現在の銭湯経営者 3 名の手記により、親しみやすく膨らみのある特集になりました。184 号では東京都公文書館に協力いただき、特集の各論考を掲載することができました。185 号では「東京都言語地図」に引き続く、國學院大學久野マリ子研究室の 30 年余りに及ぶ東京の言語研究の貴重な成果を紹介することができました。

歴史資料室は令和 3 年度に、図書 326 冊、雑誌 365 冊、絵葉書 66 枚、地図 5 枚、チラシ 9 枚、ポスター 130 枚、合計 901 点を収集・整理しました。また、

『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」の地図画像やPDF本文を毎号デジタルアーカイブで公開しました。更に、TRC - ADEAC(株)のデジタルアーカイブシステムに、全国 134 機関（図書館・博物館・大学など）とともに歴史資料室の所蔵資料を公開しました。

例年開催している（公財）東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業「多摩の歴史講座」は新型コロナウイルス感染予防対応のため、今年度についてはオンライン講座で実施致しました。「デジタル地図で多摩の歴史を記録し、考える、紡ぐ」をテーマにオンライン配信をし、多くの方にご視聴を頂きました。

（視聴希望の応募が継続しているため、視聴期間を令和 4 年 8 月 31 日まで延長しました。）また、その他にも計画していた中島陟文書資料集の刊行、「多摩の金融史」関係資料の整理等新型コロナウイルス感染予防対応のため計画通りに実施することができない事業もありました。

（3）物品販売事業（収 1）

「たましん美術館」のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがき、地域作家の陶器、染物、各種雑貨等の委託販売を行いました。計画していた売上予算には届かなかったものの、収支においては黒字を確保することができました。

2. 事業報告の内訳

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)

(定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(1) 企画展覧会

① たましん美術館

計画事業 通し番号	計 画				報 告		入館料収入 (円)	入館者数(人) (有料入館者)
	事 業 名	自主・共催	実施期間	開催 日数	事業内容及び説明			
1	足跡vol.2 所蔵品と新作から見える多摩の美術	自主	令和3年6月1日(火) ～8月15日(日)	66	前年度に行った「足跡1974-2020 所蔵品と新作から見える多摩の美術」の第二弾となる展覧会。絵画を中心に一部立体作品をまじえて、たましんの所蔵する旧作と、近年制作された新作を並べ、作家それぞれの作風の変化に注目した。		259,500	2,165 (894)
2	コレクションの礎(いしずえ) —倉田三郎・佐藤多持・関根亭—	自主	令和3年8月28日(土) ～12月19日(日)	76	昭和49年に「たましん展示室」(後の「たましんギャラリー」)を開設した時から本格的に始まった、多摩信用金庫の文化事業。そこに深く関わり、金庫の活動を応援した洋画家の倉田三郎、彫刻家の関根亭、日本画家の佐藤多持。たましんコレクションの成立にも深く関わった、三人の先生方の作品を取り上げ、その魅力を紹介した。		595,600	3,589 (1,224)
3	新収蔵 小貫政之助展	自主	実施せず	0	たましん地域文化財団に新たに寄贈された作品を中心に、画家小貫政之助の生涯を振り返る展覧会を予定していたが、年度のはじめに新型コロナウイルス感染拡大にともなう臨時休館、大幅な会期変更を余儀なくされたため、本展の実施を次年度に持ち越す形で調整した。		0	0
4	The Adventure of Fine Art Prints	共催	令和4年1月15日(土) ～3月27日(日)	65	武蔵野美術大学との共催展。武蔵野美術大学美術館の所蔵品および同大学出身作家からも作品を借用し、前期「武蔵野美術大学と版画」、後期「版画からグラフィックアートへ」とそれぞれテーマを設けて展示替えを行い、現代版画のこれまで展開を振り返り今後のさらなる進展の可能性を示しました。		524,200	2,583 (1,132)

② たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画				報 告	入館料収入 (円)	入館者数(人) (有料入館者)
	事 業 名	自主・共催	実施期間	開催 日数	事業内容及び説明		
1	倉田三郎のまなざし[併設 たましんコレクション展Ⅰ]	自主	令和3年6月1日(火) ～8月29日(日)	76	たましんコレクションの大きな柱となる洋画家倉田三郎の作品を集めて展示した。多摩を歩き、そして世界を旅した倉田のその土地とそこに暮らす人々に向けたおだやかな眼差しを感じていただく展覧会となった。	41,700	605 (417)
2	たましんの浮世絵[併設 たましんコレクション展Ⅱ]	自主	令和3年9月11日(土) ～12月26日(日)	89	江戸時代、都の人々にとって格好の散策地であった多摩の様子を知っていただくために、たましんコレクションの中から多摩地域を主題にした浮世絵を集めて展示した。	103,700	1,367 (1,037)
3	古陶賞玩—やきものを愛でる— / Printing Printing—萌えいづる現代版画—	自主	令和4年1月15日(土) ～3月27日(日)	60	中国、朝鮮、日本それぞれの国で制作された陶磁器の優品を展示し、各土地、各時代の特色に注目しながら鑑賞を楽しんでいただく展覧会とした。また、たましんの所蔵する現代版画を集めた展示を行い、たましん美術館の「The Adventure of Fine Art Prints」との相互集客を目指した。	64,300	794 (571)

③地域貢献スペース(ギャラリー)

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	たましん本店2階地域貢献スペース(ギャラリー)運営	自主	通年	多摩信用金庫からの委託業務として、地域貢献スペースの展示を行った。前年度に企画選定委員会を通じて決定した、多摩美術大学版画研究室、日本工学院、国文学研究資料館、武蔵野東学園による4本の展示の計画段階からの監督、展示・撤収作業の立ち会いなどを財団学芸員が行った。(当スペースは無料開放エリアのため、入館者数は未計測)

(2)調査・研究・収集・保存

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	たましん美術館年報・紀要の作成	自主	通年	たましん美術館年報・紀要の作成に向けて、展覧会活動、他館との作品貸し借り、その他の関連情報の蓄積、整理を進めた。年報・紀要は令和4年度に第1号の刊行を予定している。
2	展覧会スケジュールの発行		通年	令和3年度のたましん美術館展覧会スケジュールを発行した。ただし新型コロナウイルス感染拡大にともなう臨時休館、大幅な会期変更が続いたため、年度途中で修正版を再度作成し発行した。
3	資料・図書の収集		通年	多摩地域の重要な作家の資料、多摩地域の美術に関する図書等を寄贈の受け入れを中心に収集した。
4	作品の収集		通年	多摩地域と縁が深い作家であり、美術史的にも重要と判断した作品に限り、寄贈を受け、コレクションの充実を図った。具体的には、倉田三郎作品2点、小貫政之助作品9点、佐藤多持作品1点、柳澤武雄作品1点の寄贈を受けた。

(3)美術講座・美術教育

① ギャラリートーク

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	「コレクションの礎－倉田三郎・佐藤多持・関頌亭－」展 ギャラリートーク	自主	実施せず	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止した。
2	「小貫政之助」展 ギャラリートーク	自主	実施せず	「小貫政之助」展の開催を次年度に延期したため、実施しなかった。

②トークイベント ③体験型イベント

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	トークイベント 「小貫政之助」展スライドトーク	自主	実施せず	「小貫政之助」展の開催を次年度に延期したため、実施しなかった。
2	体験型イベント 「The Adventure of Prints」ワークショップ	自主	実施せず	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止した。

④美術講演会

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	美術講演会	共催	実施せず	(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団、くにたちギャラリーネットワークとの共催事業として美術講演会を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止となった。

(4) 地域との連携

① 学校との連携

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	地域の学校との連携	自主	通年	立川市教育委員会と連携し、立川市立の全校中学1年生を対象に、たましん美術館において鑑賞教室を行った。新型コロナウイルス感染拡大期にあたった3校(第4、5、7中)の見学は中止となったが、その他の6校(第1、2、3、6、8、9中)の見学は予定通り実施した。

② たましん美術館周辺地区との連携

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	グリーンスプリングスとの連携	自主	通年	新型コロナウイルスの感染拡大も鑑みて、すべての連携を進めることはできなかったが、グリーンスプリングス内のPLAY!ミュージアム、昭和記念公園の案内センターとは展覧会広報物の相互設置を行い、国文学研究資料館とは地域貢献スペースでの展示、また美術館ミュージアムショップ前に期間限定で同資料館作成の鉢山のジオラマ作品の展示を行うなど、連携を強めることができた。
2	ファールアートとの連携			
3	昭和記念公園との連携			
4	国文学研究資料館との連携			

(5) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	美術館専用WEBサイトの構築	自主	通年	美術館専用WEBサイトのコンテンツの充実をはかり、たましん美術館、たましん歴史・美術館、ギャラリー(地域貢献スペース)、この3つの展示施設の情報の周知につとめた。開催中の展覧会情報の他、年間スケジュールや過去の展覧会アーカイブにもアクセスできるように改善した。

2.『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)

(定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(1)『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業 通し番号	計 画			報 告	発行部数(部)
	事 業 名	自主・共催	刊行日	事業内容及び説明	
1	182号「コロナ禍に向きあう博物館」	自主	令和3年5月31日	新型コロナウイルス感染症は、未だ収束に至っていません。このような状況下で、多摩各地の博物館では、感染予防策、関連資料の収集と展示、ウェブ植物観察会、資料のデジタル化など、さまざまな取組みを実施していることを紹介しました。本号は、三多摩公立博物館協議会の協力を得て企画しました。	13,000
2	183号「多摩の銭湯」	自主	令和3年8月31日	3名の研究者による全国の銭湯行脚や資料から考察する論考に加え、現在の銭湯経営者3名の手記をいただいて、多摩、東京の銭湯のあゆみを紹介しました。東京都浴場組合の銭湯経営者講座ではテキストとして使用され、銭湯経営者3名の手記は全国浴場新聞にも転載されました。	13,000
3	184号「江戸東京と多摩」	自主	令和3年11月30日	令和2年4月、東京都公文書館が世田谷区から国分寺市に移転してきました。同館は明治以来の東京府・東京市や東京都の公文書、行政刊行物をはじめ、江戸時代の歴史資料も多数所蔵しています。江戸期から現代に至る資料のなかから多摩地域に関連する事例を、同館の専門員にご執筆いただきました。	13,000
4	185号「多摩、東京のことばの移りかわり」	自主	令和4年2月28日	『東京都言語地図』(東京都教育委員会、1986年)に引き続く、國學院大學久野マリ子研究室の30年余りに及ぶ東京の言語研究の貴重な成果を紹介しました。また誌面に掲載した言語地図やことばの音源を当財団ホームページに公開しました。	13,000

(2)刊行物の発行

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	中島陟文書資料集の刊行	共催	通年	越澤明北海道大学名誉教授の監修のもと、佐藤収一氏(株式会社サトウ:会長)が所蔵する中島陟文書資料集を刊行する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により編集作業が予定通りに進みませんでした。令和4年度への継続事業としました。 協力者:渡辺彰子氏 書 名:『箱根土地株式会社と分譲地・学園都市一常務取締役中島陟文書よりー』(仮称)

(3)歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画			報 告	閲覧者数 (人)
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	歴史資料室の運営	自主	通年	新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言の発令を受けて、歴史資料室は4月25日(日)から5月31日(火)まで臨時休館しました。 令和3年度は、図書326冊、雑誌365冊、絵葉書66枚、地図5枚、チラシ9枚、ポスター130枚、合計901点を収集・整理しました。 今期末現在で図書27,277冊、雑誌16,049冊、絵葉書6,471枚、地図1,848枚、チラシ546枚、ポスター4,531枚を所蔵しています。	閲覧者 用紙 記入者数 481

(4) 多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画			報 告	視聴者数(人)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	第24回多摩の歴史講座 (公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センターとの共催事業	共催	令和4年3月～8月	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して延期した令和2年度(第24回)の「デジタル地図を使って多摩の歴史を考える」は、本年度も対面での講座は実施できませんでした。 オンライン配信に関しては、「デジタル地図で多摩の歴史を記録し、考える、紡ぐ」と題して、下記の講師とタイトルでシンポジウムをリモートで開催、6本の動画に編集して視聴希望者に配信しました。 ＊講師、発表テーマ 小林政能(日本地図センター、月刊『地図中心』編集長) 「デジタル地図で、自分を識る【地理院地図】【東京時層地図】【今昔マップ on the web】」 千葉達朗(アジア航測株式会社フェロー) 「用水の歴史を赤色立体地図で考える」 本田 創(『東京「暗渠」散歩』著者) 「赤色立体地図でみる玉川上水の水路網のなりたち」 古橋大地(青山学院大学地球社会共生学部教授) 「Mapillary—多摩地域の写真アーカイブと地図の運動—」 石川 初(慶應義塾大学環境情報学部教授) 「時層写真:「私の日常」を「歴史」につなげる試み」 渡邊英徳(東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授) 「市民が調べ、紡ぎ、発信する歴史マッピング」 ＊視聴期間 令和4年3月1日～令和4年5月31日 (⇒ 視聴希望の応募が継続しているため、8月31日まで延長しました。)	視聴数 676 (令和4年3月1日～3月31日)

(5) 地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	東京都三多摩公立博物館協議会と東京都公文書館(国分寺市)との連携は、『多摩のあゆみ』の特集企画で協力を得ることができました(182号特集「コロナ禍に向きあう博物館」、184号特集「江戸東京と多摩」)。 さらに東京都三多摩公立博物館協議会とは、機関誌の『ミュージアム』編集委員会に参加して実務を担当しました。 東京都立多摩図書館(国分寺市)との連携は、同館の企画展示「日本の魅力再発見！」で全国の情報や文化を伝える地域情報誌126誌のなかに『多摩のあゆみ』を選んでいただき、展示されました(令和4年2月5日～5月11日)。 立川市や清瀬市、多摩市などの編さん事業に引き続き協力し、令和3年12月に『多摩市市制施行50周年記念誌』が刊行されました。
2	資料検索システムの統合検索	自主	通年	NPO法人共同保存図書館・多摩(多摩デポ)と連携・協力して、当財団所蔵図書の本誌情報を都立図書館や市区町村立図書館などと統合的に検索できる仕組み「多摩デポ統合検索システム」の実用化に向けた研究会に参加しました。

(6)「多摩の金融史」関係資料の整理

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	自主	通年	『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は、19回目まで掲載してきました。 武蔵野支店に収蔵されている多摩信用金庫(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の資料調査・撮影は、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して実施できませんでした。

(7)広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	『多摩のあゆみ』刊行等の告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』の刊行や歴史資料室所蔵資料等の情報を、随時当財団のホームページに公開しました。
2	『多摩のあゆみ』連載の デジタルアーカイブ化	自主	通年	TRC-ADEAC(株)(文京区)のデジタルアーカイブシステムに、全国134機関(図書館・博物館・大学など)とともに歴史資料室の所蔵資料を公開しています。 『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像やPDF本文を、毎号デジタルアーカイブで公開しました。 本年度(令和3年4月～令和4年3月)の総アクセス数は、727,054pv(※)です。※pv(page view):ページへのアクセス数の単位 新型コロナウイルス感染症の第3回緊急事態宣言が出た4月から5月にかけてアクセス数は60,000pv台に増えて、9月には71,009pvを記録しました。その後も40,000～60,000pvで推移し、令和4年3月は67,504 pvでした。

収益事業

3. 物品販売事業（収1）

（定款第4条第1項第9号）

（1）物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画			報 告	売上高
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	（円）
1	物品販売事業	自主	通年	たましん美術館のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがき・スケッチブックなどの販売のほか、地域の作家の陶器、各種雑貨等の委託販売を行いました。	絵はがき 44,500 オリジナル商品 46,880 書籍類 10,274 委託商品 159,092 合計 260,746

3. 管理

役員等及び役員会等に関する事項

1. 評議員、理事及び監事の名簿

①評議員

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏 名	任 期	常勤・ 非常勤	当法人以外の役職
評議員	さいとう しんいち 齋藤 慎一	令和2年6月22日から令和6年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	武蔵御嶽神社及び御師家 古文書学術調査団 委員
〃	うただ しんすけ 歌田 眞介	令和2年6月22日から令和6年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	東京藝術大学 名誉教授
〃	おかの のりよ 岡野 法世	令和2年6月22日から令和6年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	陶芸家
〃	つくだ けんすけ 佃 堅輔	令和2年6月22日から令和6年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	美術評論家 法政大学 名誉教授
〃	さかづめ ひでいち 坂詰 秀一	令和2年6月22日から令和6年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	立正大学 名誉教授
〃	もちづき かずお 望月 一雄	令和3年6月18日から令和6年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	画家
〃	かない まさひこ 金井 雅彦	令和3年7月15日から令和6年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	多摩信用金庫 専務理事

②理事

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏 名	任 期	常勤・ 非常勤	当法人以外の役職
理事長	やぎ 八木 敏郎	令和2年6月22日から令和4年 6月開催の定時評議員会まで	非常勤	多摩信用金庫 理事長
理 事	かわぐち てつお 川口 哲生	令和2年6月22日から令和4年 6月開催の定時評議員会まで	非常勤	立川商工会議所 会頭
〃	むらの やすなり 村野 安成	令和2年6月22日から令和4年 6月開催の定時評議員会まで	非常勤	合名会社 村野醸造場 代表社員
〃	わいだ けい 和井田 慶子	令和2年6月22日から令和4年 6月開催の定時評議員会まで	非常勤	岩崎ビルディング株式会社 監査役
〃	ばば けんいち 馬場 憲一	令和2年6月22日から令和4年 6月開催の定時評議員会まで	非常勤	法政大学 名誉教授
〃	なかじま たかまさ 中島 孝昌	令和2年6月22日から令和4年 6月開催の定時評議員会まで	非常勤	中島建設株式会社 代表取締役
〃	うし やすし 宇治 康	令和3年4月1日から令和4年 6月開催の定時評議員会まで	常勤	公益財団法人 立川市地域文 化振興財団 理事(非常勤)

③監事

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏 名	任 期	常勤・ 非常勤	当法人以外の役職
監 事	なかの たかみち 中野 隆右	令和2年6月22日から令和4年 6月開催の定時評議員会まで	非常勤	NPO法人立川教育振興会 理事長
〃	おざわ のぶあき 小澤 伸光	令和2年6月22日から令和4年 6月開催の定時評議員会まで	非常勤	公認会計士・税理士

2. 評議員会、理事会に関する事項

(1) 会議開催の状況

① 評議員会

開会年月日	件 名	会議結果
令和3年6月18日 (定時・書面決議)	第1号議案 「令和2年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認」について	可 決
	第2号議案 補欠評議員1名選任について	可 決
	報告事項① 「令和2年度事業報告及び附属明細書」の報告について	—
令和3年7月15日 (第2回・書面決議)	第1号議案 補欠評議員1名選任について	可 決
令和4年3月17日 (第3回・書面決議)	第1号議案 「令和4年度 事業計画書(案)」の承認について	可 決
	第2号議案 「令和4年度収支予算(案)」「資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類(案)」について	可 決

②理事会

開会年月日	件 名	会議結果
令和3年4月1日 (第1回) (書面決議)	第1号議案 業務執行理事1名選定の件	可 決
令和3年6月9日 (第2回)	第1号議案 「令和2年度事業報告及び附属明細書の承認」について	可 決
	第2号議案 「令和2年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認」について	可 決
	第3号議案 業務委託契約(地域貢献スペース)の締結について	可 決
	第4号議案 たましん美術館館則の制定について	可 決
	第5号議案 「令和3年度定時評議員会の決議の省略および報告の省略の方法で行うこと」について	可 決
	報告事項① 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項② 宇治業務執行理事 職務執行状況報告	—
令和3年7月9日 (第3回) (書面決議)	第1号議案 「令和3年度第2回評議員会の決議の省略の方法で行うこと」について	可 決
	第2号議案 補欠評議員の選任について	可 決
令和3年12月10日 (第4回) (書面決議)	第1号議案 就業規則の一部改正について	可 決
	第2号議案 組織規程の一部改正について	可 決
	第3号議案 ハラスメント防止規程の制定について	可 決
	第4号議案 育児休業規程の制定について	可 決
	第5号議案 介護休業規程の制定について	可 決
	第6号議案 内部通報規程の制定について	可 決
令和4年3月8日 (第5回)	第1号議案 「令和4年度 事業計画(案)」について	可 決
	第2号議案 「令和4年度 収支予算(案)」について	可 決
	第3号議案 業務委託契約(地域貢献スペース)の締結について	可 決
	第4号議案 「令和3年度 第3回評議員会の決議の省略の方法で行うこと」について	可 決
	報告事項① 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項② 宇治業務執行理事 職務執行状況報告	—

4. 付属明細書

1. 令和3(2021)年度 たましん美術館実績一覧

月	開館	有料	招待	月間入館者	一日平均	入館料	ショップ売上	売上合計
4月	16	260	705	965	60.3	75,200	37,635	112,835
5月								
6月	26	322	492	814	31.3	96,300	14,018	110,318
7月	27	369	520	889	32.9	104,900	15,281	120,181
8月	16	233	306	539	33.7	72,900	18,233	91,133
9月	26	317	456	773	29.7	152,700	31,121	183,821
10月	23	317	543	860	37.4	154,700	44,282	198,982
11月	24	349	897	1,246	51.9	169,300	45,525	214,825
12月	17	211	422	633	37.2	104,300	43,192	147,492
1月	14	280	506	786	56.1	128,700	24,901	153,601
2月	24	367	324	691	28.8	168,300	22,177	190,477
3月	27	485	621	1,106	41.0	227,200	47,209	274,409
合計	240	3,510	5,792	9,302	38.8	1,454,500	343,574	1,798,074

期間	展覧会名	日数	入館者数	有料	招待	一日平均	入館料	合計収入
6/1～8/15	足跡1974-2020 vol.2	66	2,165	894	1,271	32.8	259,500	303,226
8/28～12/19	コレクションの礎	93	3,589	1,224	2,365	38.6	595,600	763,526
1/15～3/27	The Adventure of Fine Art Prints	65	2,583	1,132	1,451	39.7	524,200	618,487

2. 令和3(2021)年度 たましん歴史・美術館実績一覧

月	開館	有料	招待	月間入館者	一日平均	入館料	その他売上	売上合計
4月	21	145	69	214	10.2	14,500	0	14,500
5月								
6月	26	138	96	234	9.0	13,800	0	13,800
7月	25	154	59	213	8.5	15,400	0	15,400
8月	25	125	33	158	6.3	12,500	0	12,500
9月	25	230	68	298	11.9	23,000	0	23,000
10月	27	339	92	431	16.0	33,900	0	33,900
11月	23	239	78	317	13.8	23,900	0	23,900
12月	23	229	92	321	14.0	22,900	0	22,900
1月	14	145	50	195	13.9	14,500	1,200	15,700
2月	22	200	65	265	12.0	20,000	3,000	23,000
3月	24	226	108	334	13.9	22,600	3,000	25,600
合計	255	2,170	810	2,980	11.7	217,000	7,200	224,200

期間	展覧会名	日数	入館者数	有料	招待	一日平均	合計売上	入館料収入
3/27～4/27	たましんの日本画 【併設】古陶磁コレクション展	29	300	185	115	10.3	18,500	18,500
6/1～8/29	倉田三郎のまなざし 【併設】たましんコレクション展Ⅰ	76	605	417	188	8.0	41,700	41,700
9/11～12/26	たましんの浮世絵 【併設】たましんコレクション展Ⅱ	89	1,367	1037	330	15.4	103,700	103,700
1/15～3/27	古陶賞玩 Printing Printing	60	794	571	223	13.2	64,300	57,100

3. 地域貢献スペース(ギャラリー)展覧会名

たましん新本店2階地域貢献スペース(ギャラリー)の展示活動を多摩信用金庫からの業務委託という形で支援しました。具体的には令和3年度分の展示計画、作家の選定、展示・撤収作業の監督、広報物作成の助言等のサポートを財団学芸員が行いました。(当スペースは無料開放エリアのため、入館者数の計上はしておりません)

展覧会名	会 期
安原千夏 「STONE SKIPPING」	2021年4月5日(月)—5月8日(土)
宮内柚 / 加藤昌美 「STRETCH OUT」	2021年5月10日(月)—6月5日(土)
坂井新奈 / 正田七恵 / 三宅葵 「AWARE—景色が生まれる場所—」	2021年6月7日(月)—7月3日(土)
日本工学院八王子専門学校 「日本工学院八王子専門学校 若きつくりびと2021」	2021年7月5日(月)—10月2日(土)
国文学研究資料館 「国文研ってどんなところ?～多摩地域ゆかりの所蔵品とともに～」	2021年10月4日(月)—2022年1月6日(木)
武蔵野東学園 「「東の丘」East fields 武蔵野東学園絵画作品展」	2022年1月9日(日)—4月1日(金)

令和 3 年度

決 算 報 告 書

公益財団法人たましん地域文化財団

貸 借 対 照 表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
立替金	82,500	0	82,500
現金	795,204	489,117	306,087
現金	795,204	489,117	306,087
預金	9,890,483	10,399,491	△ 509,008
普通預金	6,069,674	6,826,038	△ 756,364
定期預金	2,400,000	1,200,000	1,200,000
郵便貯金	1,420,809	1,323,453	97,356
定期積金	0	1,050,000	△ 1,050,000
棚卸資産	1,246,086	1,327,614	△ 81,528
書籍	897,107	934,995	△ 37,888
絵はがき	196,827	209,167	△ 12,340
雑貨・文具	152,152	183,452	△ 31,300
前払費用	370,676	370,676	0
未収金	32,588	15,008	17,580
流動資産合計	12,417,537	12,601,906	△ 184,369
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	80,000,000	80,000,000	0
出資金	230,000,000	230,000,000	0
美術品(基本)	519,218,100	519,218,100	0
不動産(土地)	21,169,345	21,169,345	0
不動産(建物)	3,485,491	3,485,491	0
基本財産合計	853,872,936	853,872,936	0
(2) 特定資産			
美術館事業準備積立資産	5,599,000	5,599,000	0
退職給付引当資産	6,880,000	6,380,000	500,000
修繕引当資産	20,000,000	20,000,000	0
特定資産合計	32,479,000	31,979,000	500,000
(3) その他の固定資産			
電話加入権	291,200	291,200	0
什器備品	858,970	1,688,552	△ 829,582
ソフトウェア	1	1	0
美術品(その他)	1,020,000	890,000	130,000
その他固定資産合計	2,170,171	2,869,753	△ 699,582
固定資産合計	888,522,107	888,721,689	△ 199,582
資産の部合計	900,939,644	901,323,595	△ 383,951
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	499,044	421,282	77,762
未払金	177,532	679,113	△ 501,581
未払費用	1,077,457	1,095,923	△ 18,466
前受収益	1,512,141	1,372,054	140,087
賞与引当金	960,000	1,270,000	△ 310,000
流動負債 合計	4,226,174	4,838,372	△ 612,198
2 固定負債			
退職給付引当金	6,880,000	6,380,000	500,000
固定負債合計	6,880,000	6,380,000	500,000
負債の部合計	11,106,174	11,218,372	△ 112,198
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	849,471,936	849,471,936	0
(うち基本財産への充当額)	(843,872,936)	(843,872,936)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(5,599,000)	(5,599,000)	(0)
2 一般正味財産	40,361,534	40,633,287	△ 271,753
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
正味財産の部合計	889,833,470	890,105,223	△ 271,753
負債及び正味財産合計	900,939,644	901,323,595	△ 383,951

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,602,041	4,608,002	△5,961
基本財産運用益	2,041	8,002	△5,961
基本財産受取配当金	4,600,000	4,600,000	0
特定資産運用益	2,232	3,046	△814
特定資産運用益	2,232	3,046	△814
固定資産受贈益	130,000	480,000	△350,000
固定資産受贈益	130,000	480,000	△350,000
固定資産受贈益振替分	0	0	0
事業収益	2,038,754	2,879,075	△840,321
入館料収益	1,671,500	2,433,100	△761,600
図録販売収益	59,800	81,700	△21,900
出版事業収益	46,708	58,842	△12,134
喫茶事業収益	0	0	0
物品販売収益	260,746	305,433	△44,687
受取補助金等	0	4,891,720	△4,891,720
受取国庫助成金	0	68,000	△68,000
受取民間助成金	0	4,823,720	△4,823,720
受取補助金等振替額	0	0	0
受取寄付金	78,900,000	79,216,000	△316,000
受取寄付金	78,900,000	79,216,000	△316,000
受取寄付金振替額	0	0	0
前受収益	0	0	0
雑収益	714,322	814,605	△100,283
受取利息	901	711	190
雑収益	713,421	813,894	△100,473
経常収益計	86,387,349	92,892,448	△6,505,099
(2) 経常費用			
事業費	81,757,595	92,187,129	△10,429,534
災害修復費	0	0	0
売上原価	81,528	57,563	23,965
給料手当	20,616,079	22,513,107	△1,897,028
臨時雇賃金	7,019,637	6,626,602	393,035
賞与引当金繰入	960,000	1,270,000	△310,000
退職給付費用	500,000	550,000	△50,000
法定福利費	3,528,921	3,990,146	△461,225
福利厚生費	169,603	117,449	52,154
旅費交通費	967,331	1,200,059	△232,728
通信運搬費	2,572,048	2,991,571	△419,523
支払手数料	92,780	108,269	△15,489
減価償却費	556,286	836,930	△280,644
消耗什器備品費	358,094	1,061,347	△703,253
消耗品費	1,565,287	2,761,393	△1,196,106
修繕費	242,319	135,313	107,006
印刷製本費	9,158,111	10,577,726	△1,419,615
燃料費	37,776	40,345	△2,569
光熱水料費	1,044,081	1,121,665	△77,584
賃借料	20,839,494	18,219,212	2,620,282
保険料	1,048,815	1,233,790	△184,975

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
諸謝金	931,680	806,879	124,801
保守管理費	2,907,998	2,745,704	162,294
会議費	20,464	8,224	12,240
支払負担金	0	0	0
図書費	379,557	240,460	139,097
委託費	5,514,897	12,473,943	△6,959,046
研修費	0	0	0
宣伝費	87,500	64,000	23,500
仕入費	134,109	184,732	△50,623
諸会費	422,200	200,700	221,500
雑費	0	0	0
雑損失	1,000	0	1,000
退職金	0	50,000	△50,000
管理費	4,831,507	5,562,504	△730,997
役員報酬	239,600	214,320	25,280
給料手当	200,000	480,000	△280,000
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	168,260	160,438	7,822
福利厚生費	13,168	22,240	△9,072
会議費	53,346	58,109	△4,763
旅費交通費	38,506	39,918	△1,412
通信運搬費	412,009	362,358	49,651
支払手数料	56,354	48,132	8,222
減価償却費	273,296	325,686	△52,390
消耗什器備品費	94,352	122,555	△28,203
消耗品費	162,843	610,869	△448,026
修繕費	15,585	23,877	△8,292
印刷製本費	140,379	158,441	△18,062
燃料費	6,135	6,977	△842
光熱水料費	72,000	72,000	0
賃借料	438,593	784,732	△346,139
保険料	74,185	47,850	26,335
諸謝金	0	0	0
租税公課	4,800	11,100	△6,300
保守管理費	92,002	90,360	1,642
図書費	0	0	0
研修費	208,824	0	208,824
交際費	171,970	447,556	△275,586
委託費	1,535,800	1,109,986	425,814
諸会費	355,800	364,300	△8,500
雑費	3,700	700	3,000
雑損失	0	0	0
経常費用計	86,589,102	97,749,633	△11,160,531
評価損益等調整前当期経常増減額	△201,753	△4,857,185	4,655,432
基本財産評価損益等	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△201,753	△4,857,185	4,655,432
2. 経常外増減の部			

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
(1) 経常外収益			
受取保険金	0	0	0
退職給付引当金戻入益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
災害損失	0	0	0
災害修復損失	0	0	0
災害損失	0	0	0
その他経常外費用	0	1,213,486	△1,213,486
その他経常外費用	0	0	0
棚卸資産処分損	0	1,213,486	△1,213,486
経常外費用計	0	1,213,486	△1,213,486
当期経常外増減額	0	△1,213,486	1,213,486
他会計振替額	0	0	0
他会計からの繰入額	3,917	0	3,917
他会計への繰出額	3,917	0	3,917
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
法人税等調整額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△271,753	△6,140,671	5,868,918
一般正味財産期首残高	40,633,287	46,773,958	△6,140,671
一般正味財産期末残高	40,361,534	40,633,287	△271,753
II 指定正味財産増減の部			
受取民間助成金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
出資金（指定）	0	0	0
公社債（指定）	0	0	0
定期預金（指定）	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	849,471,936	849,471,936	0
指定正味財産期末残高	849,471,936	849,471,936	0
III 正味財産期末残高	889,833,470	890,105,223	△271,753

正味財産増減計算書内訳表

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業会計	法人会計	共通配賦	合 計
	公 1	公 2	共通	小 計	収 入			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	4,602,041	4,602,041	0	0	0	4,602,041
基本財産運用益	0	0	2,041	2,041	0	0	0	2,041
基本財産受取配当金	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	4,600,000
特定資産運用益	0	0	2,232	2,232	0	0	0	2,232
特定資産運用益	0	0	2,232	2,232	0	0	0	2,232
固定資産受贈益	130,000	0	0	130,000	0	0	0	130,000
固定資産受贈益	130,000	0	0	130,000	0	0	0	130,000
事業収益	1,731,300	46,708	0	1,778,008	260,746	0	0	2,038,754
入館料収益	1,671,500	0	0	1,671,500	0	0	0	1,671,500
図録販売収益	59,800	0	0	59,800	0	0	0	59,800
出版事業収益	0	46,708	0	46,708	0	0	0	46,708
物品販売収益	0	0	0	0	260,746	0	0	260,746
受取寄付金	18,500,000	0	56,530,000	75,030,000	185,000	3,685,000	0	78,900,000
受取寄付金	18,500,000	0	56,530,000	75,030,000	185,000	3,685,000	0	78,900,000
雑収益	230,370	401,623	19,781	651,774	0	62,548	0	714,322
受取利息	0	0	901	901	0	0	0	901
雑収益	230,370	401,623	18,880	650,873	0	62,548	0	713,421
経常収益計	20,591,670	448,331	61,154,054	82,194,055	445,746	3,747,548	0	86,387,349
(2) 経常費用								
事業費	52,286,047	29,058,070	0	81,344,117	413,478	0	0	81,757,595
売上原価	15,375	22,513	0	37,888	43,640	0	0	81,528
給料手当	11,269,279	9,346,800	0	20,616,079	0	0	0	20,616,079
臨時雇賃金	4,728,885	2,290,752	0	7,019,637	0	0	0	7,019,637
賞与引当金繰入	490,000	470,000	0	960,000	0	0	0	960,000
退職給付費用	210,000	290,000	0	500,000	0	0	0	500,000
法定福利費	1,924,832	1,604,089	0	3,528,921	0	0	0	3,528,921
福利厚生費	110,640	58,963	0	169,603	0	0	0	169,603
旅費交通費	622,779	344,552	0	967,331	0	0	0	967,331
通信運搬費	1,026,820	1,541,538	0	2,568,358	3,690	0	0	2,572,048
支払手数料	20,866	67,725	0	88,591	4,189	0	0	92,780
減価償却費	509,486	46,800	0	556,286	0	0	0	556,286
消耗什器備品費	197,117	160,977	0	358,094	0	0	0	358,094
消耗品費	1,212,512	348,317	0	1,560,829	4,458	0	0	1,565,287
修繕費	216,343	25,976	0	242,319	0	0	0	242,319
印刷製本費	1,145,251	8,006,480	0	9,151,731	6,380	0	0	9,158,111
燃料費	27,542	10,234	0	37,776	0	0	0	37,776
光熱水料費	838,081	206,000	0	1,044,081	0	0	0	1,044,081
賃借料	20,399,353	243,133	0	20,642,486	197,008	0	0	20,839,494
保険料	1,034,077	14,738	0	1,048,815	0	0	0	1,048,815
諸謝金	30,000	901,680	0	931,680	0	0	0	931,680
保守管理費	2,681,994	206,000	0	2,887,994	20,004	0	0	2,907,998
会議費	464	20,000	0	20,464	0	0	0	20,464
図書費	120,920	258,637	0	379,557	0	0	0	379,557
委託費	3,121,731	2,393,166	0	5,514,897	0	0	0	5,514,897
宣伝費	87,500	0	0	87,500	0	0	0	87,500
仕入費	0	0	0	0	134,109	0	0	134,109
諸会費	243,200	179,000	0	422,200	0	0	0	422,200
雑損失	1,000	0	0	1,000	0	0	0	1,000
管理費	0	0	0	0	0	4,831,507	0	4,831,507
役員報酬	0	0	0	0	0	239,600	0	239,600
給料手当	0	0	0	0	0	200,000	0	200,000
法定福利費	0	0	0	0	0	168,260	0	168,260
福利厚生費	0	0	0	0	0	13,168	0	13,168
会議費	0	0	0	0	0	53,346	0	53,346
旅費交通費	0	0	0	0	0	38,506	0	38,506
通信運搬費	0	0	0	0	0	412,009	0	412,009
支払手数料	0	0	0	0	0	56,354	0	56,354
減価償却費	0	0	0	0	0	273,296	0	273,296
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	94,352	0	94,352
消耗品費	0	0	0	0	0	162,843	0	162,843
修繕費	0	0	0	0	0	15,585	0	15,585
印刷製本費	0	0	0	0	0	140,379	0	140,379
燃料費	0	0	0	0	0	6,135	0	6,135
光熱水料費	0	0	0	0	0	72,000	0	72,000
賃借料	0	0	0	0	0	438,593	0	438,593
保険料	0	0	0	0	0	74,185	0	74,185
租税公課	0	0	0	0	0	4,800	0	4,800
保守管理費	0	0	0	0	0	92,002	0	92,002
研修費	0	0	0	0	0	208,824	0	208,824
交際費	0	0	0	0	0	171,970	0	171,970
委託費	0	0	0	0	0	1,535,800	0	1,535,800
諸会費	0	0	0	0	0	355,800	0	355,800
雑費	0	0	0	0	0	3,700	0	3,700
経常費用計	52,286,047	29,058,070	0	81,344,117	413,478	4,831,507	0	86,589,102
評価損益等調整前当期経常増減額	△31,694,377	△28,609,739	61,154,054	849,938	32,268	△1,083,959	0	△201,753
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△31,694,377	△28,609,739	61,154,054	849,938	32,268	△1,083,959	0	△201,753
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	3,917	3,917	△3,917	0	0	0
他会計からの繰入額	0	0	3,917	3,917	0	0	0	3,917
他会計への繰出額	0	0	0	0	3,917	0	0	3,917
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	70,000	0	0	70,000

正味財産増減計算書内訳表

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業会計	法人会計	共通配賦	合 計
	公 1	公 2	共通	小 計	取 1			
当期一般正味財産増減額	△31,694,377	△28,609,739	61,157,971	853,855	△41,649	△1,083,959	0	△271,753
一般正味財産期首残高	△267,399,891	△260,368,778	563,735,350	35,966,681	443,917	4,222,689	0	40,633,287
一般正味財産期末残高	△299,094,268	△288,978,517	624,893,321	36,820,536	402,268	3,138,730	0	40,361,534
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	545,433,642	0	302,559,000	847,992,642	1,479,294	0	0	849,471,936
指定正味財産期末残高	545,433,642	0	302,559,000	847,992,642	1,479,294	0	0	849,471,936
III 正味財産期末残高	246,339,374	△288,978,517	927,452,321	884,813,178	1,881,562	3,138,730	0	889,833,470

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。

その他有価証券（時価のないもの）……取得原価によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物と什器備品及びソフトウェア……定率法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

退職給付引当金……期末退職給与の自己都合要支給額の相当額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理……税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科	目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産					
定期預金		80,000,000	0	0	80,000,000
出資金（多摩信用金庫）		230,000,000	0	0	230,000,000
美術品		519,218,100	0	0	519,218,100
土地		21,169,345	0	0	21,169,345
建物		3,485,491	0	0	3,485,491
小	計	853,872,936	0	0	853,872,936
特定資産					
美術館事業準備積立資産		5,599,000	0	0	5,599,000
退職給付引当資産		6,380,000	500,000	0	6,880,000
修繕引当資産		20,000,000	0	0	20,000,000
小	計	31,979,000	500,000	0	32,479,000
合	計	885,851,936	500,000	0	886,351,936

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	80,000,000	(70,000,000)	(10,000,000)	(0)
出資金 (多摩信用金庫)	230,000,000	(230,000,000)	(0)	(0)
美術品	519,218,100	(519,218,100)	(0)	(0)
土地	21,169,345	(21,169,345)	(0)	(0)
建物	3,485,491	(3,485,491)	(0)	(0)
小 計	853,872,936	(843,872,936)	(10,000,000)	(0)
特定資産				
美術館事業準備積立資産	5,599,000	(5,599,000)	(0)	(0)
退職給付引当資産	6,880,000	(0)	(0)	(6,880,000)
修繕引当資産	20,000,000	(0)	(20,000,000)	(0)
小 計	32,479,000	(5,599,000)	(20,000,000)	(6,880,000)
合 計	886,351,936	(849,471,936)	(30,000,000)	(6,880,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

建物と什器備品及びソフトウェアの減価償却を実施した。

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物	55,140,074	51,654,583	3,485,491
什器備品	3,446,970	2,588,000	858,970
ソフトウェア	509,250	509,249	1
合 計	59,096,294	54,751,832	4,344,462

財 産 目 録
令和 4年 3月31日 現在

(単位: 円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
未払金		法律顧問料	(3/8) 15,840円 法人の管理運営に関わる事業での法律顧問料に係る源泉徴収税である。 10,210円	177,532	
		(株) 武蔵野	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]でのたましん歴史・美術館、たましん美術館入口用マットリース代(委託費)である。 10,004円		
		(株) エムビーエー	公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での図書管理システム使用料に関する委託費である。 41,800円		
		(株) 金文堂	法人の管理運営の用に関わる事業での名刺代他(消耗品費)である。 37,514円		
		(株) 田辺石油商会	公益目的事業及び法人の管理運営の用に供する車両のガソリン代(燃料費)である。 5,597円		
		多摩都市モノレール (株)	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 9,457円		
		加藤 進一	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 3,234円		
		(株) けやき出版	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 2,121円		
		(株) 月光荘画材店	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 14,429円		
		アートボックス	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での「The Adventure of Fine Art Prints」展における作品搬入・搬出代である。 32,000円		
		VIMEO, Inc.	公2[『多摩のあゆみ』刊行と歴史資料室の運営事業]での「第24回多摩の歴史講座」配信代(委託費)である。 1,664円		
		(株) カワグチオートサービス	公益目的事業及び法人の管理運営の用に供する車両の一般整備代である。 7,920円		
		ファール立川アート	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 231円		
		鈴蔵	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 11,242円		
		エムワイウェブ(株)	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]でのぐるっとバスSIM利用料(3月分)である。 319円		
	未払費用	職員	公益目的事業及び法人の管理運営の業務に従事する職員の3月分の交通費である。 3,672円		1,077,457
		職員	社会保険料(事業主負担分) 213,105円 雇用保険料(事業主負担分) 134,208円 雇用保険料(事業主負担分) 22,332円		
パートタイマー		公益目的事業及び収益目的の業務に従事するパートタイマーの3月分の賃金である。 666,786円			
パートタイマー		公益目的事業及び収益目的の業務に従事するパートタイマーの3月分の交通費である。 37,354円			
前受収益		多摩のあゆみ定期送付申込者	公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での、多摩のあゆみ定期送付受付時に発生する収入である。 1,512,141円	1,512,141	
賞与引当金		職員	公益目的事業に従事する職員に対する賞与の支払いに備えたものである。	960,000	
流動負債合計 (固定負債)				4,226,174	
	退職給付引当金	職員	公益目的事業に従事する職員に対する退職金の支払いに備えたものである。	6,880,000	
固定負債合計				6,880,000	
負債合計				11,106,174	
正味財産				889,833,470	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、内容の記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,270,000	960,000	1,270,000	0	960,000
退職給付引当金	6,380,000	500,000	0	0	6,880,000